

## 第14回宇和島市子ども・子育て会議議事録

### 開催日時

平成29年12月26日(火) 13:30~15:20

### 開催場所

宇和島市役所7階701会議室

### 出席者

(委員)弓削委員・三好委員・濱田委員・松島委員・鹿島委員・渡部委員・  
廣瀬委員・毛利委員・吉川委員・松廣委員・武田委員・中平委員  
(※欠席:寺坂委員)

(行政関係)教育委員会 常盤部長  
教育総務課 横山課長

(事務局)保健福祉部 岡田部長  
福祉課 古谷課長・富永課長補佐・大江係長・酒井係長

### 議事

- (1) 宇和島市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について  
放課後児童クラブについて(資料1)  
宇和島市学習交流センターについて(資料2)  
子育て支援事業(総合戦略)について(資料3)
- (2) 就学前教育保育施設の現状と今後について  
畑地幼稚園の閉園について(資料4)  
御殿内保育園の閉園について(資料5)  
戸島保育所・日振島保育所の家庭的保育事業への移行について(資料6)  
就学前教育保育施設の現状と今後について(資料7)

### 会議経過

- 1 開 会  
配付資料の確認・定足数の確認
- 2 市長挨拶
- 3 委員紹介
- 4 会長・副会長選出  
会長に鹿島委員、副会長に渡部委員が選出される

## 5 議 事

(1) 宇和島市・子ども・子育て支援事業計画の進捗状況として、放課後児童クラブ、宇和島市学習交流センター、子育て支援事業について事務局より説明

[質疑応答・意見]

委 員：放課後児童クラブについて(資料1)であるが、需要と供給のバランスについてどう考えているか。需要は高まっていて、希望するのに入れないうという声を聞いたことがある。

事務局：現在、放課後児童クラブは、宇和島地区に 9 クラブ、吉田地区に 1 クラブ、津島地区に 1 クラブあり、6 年生までを対象に保育を必要とする児童の生活の場を提供している。また、そのほかに、主旨は異なるが教育委員会管轄の放課後こども教室を利用している児童もある。働く保護者が増えていくなかで、一部においては、希望する放課後児童クラブに入れず待機となっている状況は認識している。

会 長：うちの法人としても、できるだけ入所希望の要望に応えようと努力している。

副会長：うちの園では、この放課後児童クラブに加入はしていないが、園独自で卒園児のみを受け入れる体制をとって放課後の預かりを行なっており、支援を補完している。

委 員：三間地区には放課後児童クラブがなく、放課後こども教室のみであり、保護者として選択の余地がない状況になっている。放課後こども教室は、放課後の児童の健全育成が目的であり、放課後児童クラブの主旨と異なる事業の位置づけにかかわらず、児童クラブのような状況になっている。三間地区においても、放課後児童クラブの需要はあるにもかかわらず、満たされたい現状があると思う。

委 員：数年前までは、面積に関する基準等がなかったため、入所年齢についても 6 年生まで受け入れられる状況にあったが、最近では、基準を遵守し低学年を優先していると 6 年生まで預かることができない状況にまでなっているのが課題である。つまり、需要と供給のバランスが取れていないのは、三間地区だけではなく全体としてそうではないか。平成 32 年度以降に予定されている監査が実施された場合にはさらに厳しい状況となると考えられる。

委 員：福祉課と生涯学習課が、放課後児童クラブと放課後こども教室の二つの特性や現状について情報共有し把握していかななくてはならないのではないかと。勤務する職員体制や待遇面についても異なっている。

事務局：この件については、委員のみなさんが言われるとおりの大きな課題であると思われるため、教育委員会と保健福祉部で連携をとりながら検討していきたい。

会 長：深い問題であり、子どもに平等に、保護者支援のためにも、ぜひ、事務局において検討をしていってほしい。

委員：宇和島市学習交流センター(資料 2)について、実施体制に、うわじまファミリーサポートセンターによる運営とあるが、ファミリーサポートセンターとは仕組みであり、運営主体になりうるのか。

事務局：現行のファミリーサポートセンターは、福祉課にアドバイザーを配置し、そのアドバイザーがコーディネートし、各会員にサポートを依頼している構成をとっている。この方法をもって宇和島市学習交流センターにおける実施体制とする計画である。なお、現在、ファミリーサポートセンターでは 1 時間 500 円の利用料金がかかるが、それについても同様となる。

委員：子育て支援事業について(資料 3)の「宇和島市愛顔の子育て応援事業」について、2 人目以降かどうか本人申請をさせているのか、市役所が調査しているのか。

事務局：まずは、本人申請してもらおうが、市役所内の情報連携により確認は行なっている。

委員：交付漏れはないか。

事務局：市民課に提出される出生届出の情報と照合し対応しているため交付漏れはない状況といえる。

委員：子育て支援事業について(資料 3)の「児童医療費助成事業(小中学生の通院費助成)」における請求の仕方を見直す予定はあるか。

事務局：現時点では無い。

委員：暦のうえで区切っている理由は。

事務局：保険制度にあわせている。

委員：市民サービスのためにも、運用部分での工夫をしてほしい。同一疾病で初診が月末で、翌月にも受診した場合、それぞれの月の負担が 3,000 円を超えず対象外となる事例もあるが、より利用しやすくするよう子育て支援策として制度の拡充を検討してほしい。

委員：子育て支援事業について(資料 3)の「子育て応援給付金の支給」と「乳児養育手当の支給」についても給付漏れはないか。

事務局：申請勧奨はしているが 100 パーセントかという分析はできていない。

委員：給付漏れがないよう配慮してほしい。

委員：子育て支援事業について(資料 3)の「子育て相談窓口の開設」について、どのような相談があるのか、その相談内容を知りたい。

事務局：次回の会議においてお示しする。

## (2) 畑地幼稚園・御殿内保育園の閉園、戸島保育所・日振島保育所の家庭的保育事業への移行について、就学前教育保育施設の現状と今後について事務局より説明

[質疑応答・意見]

委員：家庭的保育事業への移行について(資料 6)の 17 ページのなかに、戸

島保育所について、土曜日の保育をしないように変更となっているが良いのか。

事務局：来年度の継続園児の御家庭に土曜保育の利用希望について聴取したところ、希望がなかったため運用を変更している。しかしながら、適宜、状況に応じ希望が出た場合には、運用の見直しも行なえることについて保護者や地域住民に対して説明済みである。

副会長：就学前教育保育施設の現状と課題について(資料7)の21ページのデータから、1号認定の園児数が2号認定に比べて充足率が低い状況については、幼稚園園長の立場としては、幼稚園においても預かり保育を実施し、保育所と同じくらいの時間の保育を行なっている実績があるので、2号認定児を1号認定にもっていければ充足率は上がると考えている。そのために、1号認定の保育料を安くしてもらえたらありがたい。

#### ※議事以外の子育て支援関連の質疑応答・意見

副会長：認定こども園の1号認定は幼稚園児にあたるのに、認定こども園がPTA活動を行っていない場合があったりするが、そういう状況になってきているのか。PTA関係者が委員にいらっしゃるので伺いたい。

委員：年々、幼稚園でPTAに加入をしない園も増えてきていると聞いている。

副会長：番城美德認定こども園も加入していないのではないかと？

事務局：番城美德認定こども園の場合、1号認定の児童の割合は少なく、必然と働いている保護者が多い状況であることから、保護者会のなかで、PTA活動は難しいとの判断があったため加入していないといった状況にある。職員においても、職員体制や勤務シフトの関係等でPTA活動や愛幼研といった研修活動への参加は非常に厳しいため参加していない。

委員：松山市が、保育士のための処遇改善として、約3億円の12月補正予算を計上していたが、その内容と宇和島市の状況を比較等を行なっているか。

事務局：松山市の補正予算についての認識が不足しているため即答できないことから、次回報告とさせていただきたい。

## 5 開 会

次回開催日時(予定)の報告